





OASIS V3 既知の問題

既知の問題と解決済みの問題。

これは、既知の問題、混乱の領域を識別し、回避可能な問題をユーザーに通知し、それらが実装されるときに解決を文書化するためのサポートツールとして機能する。

最終更新日: 2023/11/13 下部の更新ログを参照する。ctrl+Fで検索

する。ジャンプ先: アドレス指定された発行| 更新ログ

既知の問題	説明
ログインとアクセスの問題:	<p>ログインに関連するいくつかの複合要因が組み合わされて、アクセスまたは再設定パスワードを取得しようとする個人に課題が生じている。”Forgot Password”プロセスでは、ユーザー名が一貫して見つからない。</p> <p>電子メールはIAQGシステム内のユニークなID ではないため、電子メールインプットによって作成された問題に基づいて再設定される(単一の電子メールは企業または個人のさまざまな役割に関連付けられている場合がある)。そのため、これは無効になっている。これは、メールのリセットが以前に使用された可能性があるため、一部のユーザーを混乱させる可能性がある。メールがシステム内の単一の組織にのみ関連付けられている場合、後日返されるかどうかを調べる。</p> <p>ログインの問題は最優先事項である。これらの問題に関する進行中の進展のために取り組まれた課題を参照されたい。</p> <p>最初にログインできない場合は、次の手順に従う:</p> <p>1) OASIS.IAQG.ORG のみを使用し、別のシステムは使用しないようにする。</p> <p>よくある失敗には、https://members.iaqg.org/またはhttps://iaqg.memberclicks.net/login?servId=10222 で iaqg.oasis.org またはIAQG参加機関ポータルを使用することが含まれる。</p> <p>OASIS NG(iaqg.oasis.org) を使用してユーザーの名前を見つけることができる、OASIS NG上であらゆる変更を行ってもOASIS V3 に影響はない。</p> <p>ユーザーを再登録したり、既存の会社にリンクするために新しいログイン ID を作成したりしない。組織管理者は自由にログイン/資格情報を発行することができるが、新しく作成されたユーザーと企業とを結び付けることはできない。システム内の正しくリンクされていない既存のユーザーは、ヘルプデスクチケットを介して解決される場合がある。</p> <p>正しい: https://oasis.iaqg.org/Login.aspx</p>     <p>2) ”Forgot Password”機能は、OASIS NGでのユーザーネームのみに使用すること。</p>

Reset your password

In order for us to recover your password we need to confirm your identity.
Please enter your user ID and click on "OK".
If the entered data matches with an existing account, you will get an email to register again.
This action will be logged.

User ID
MyCurrentUserIDOnly

Reset password

Return to sign in

Powered by OASIS

残念ながら、我々は、全てではないが多くのユーザーがこのメッセージを受け取ることを期待している:

User ID not found

User ID
MyCurrentUserIDOnly

Reset password

Return to sign in

“見つからない”というエラーが発生した場合は、サービスデスクでサポートチケットを発行する。Intact社は、ユーザー ID問題が確実に解決されるように努めている。

当面は:


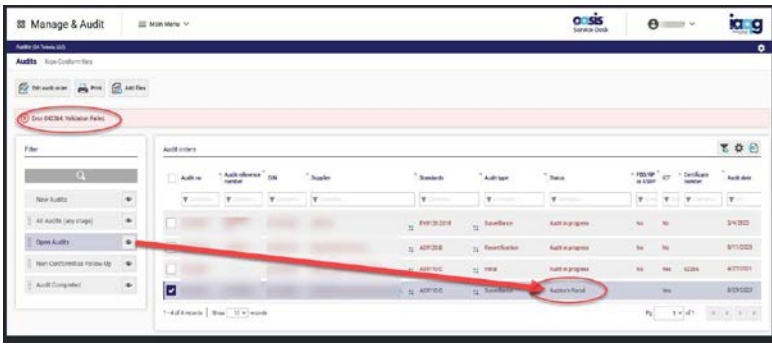
- 前のバージョンのOASISでの氏名、ユーザー名、アクセスしようとしている企業、およびユーザーアカウントに関連付けられている電子メールを質問に含める。これらにより、ユーザー ID問題を迅速に解決することができる。
- OASISのユーザー名がわからない場合は、以前のOASISサイトiaqg.org/oasisでForgot Password を実行し、「マイアカウント」の「ログイン/電子メール」を編集してユーザーIDを見つけることができる。迅速な解決を図るために、サービスデスクチケットに、この情報を提供してみる。

OASISのユーザー名に関連付けられたメールへのアクセス権がなくなった場合は、サポートチケットに上記の情報をを入れて、我々にご連絡ください。

データステータス

OASIS V3 への移行期間中は、データは更新されません。つまり、一部のステータスリストは、更新ができないために不正確である。2023年7月1日以降に何か期限切れになった場合、更新するまでしばらくお待ちください(認証状況、審査員資格情報など)。

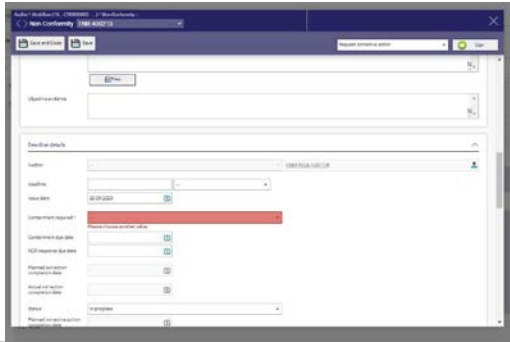
権限とログイン	<p>システム変換の一環として、権限または組織ごとに、IAQGおよびOASISの枠組み内でアクセスが必要なログインを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の権限および/または組織の種類(たとえば、いくつかの組合せの、OP監査員、認証機関、メンバー会社、文書担当者など)にアクセスできる場合は、個別のログインが必要になり、それぞれを個別にアクティブ化する必要がある。 ・ また、組織の役割/権限も合理化されており、これまで見るができなかったり、できていたことができなくなったりした場合は、まず知識ベースでの指示(活動のやり方が変わった可能性がある)を確認すること。そうでない場合は、組織の管理者に問い合わせて、合理化された設定で役割/権限がまだあるかどうかを確認すること。 <p>これは、データの一部が、異なるログインIDの下で別々の場所に存在するため、最初は混乱する。</p>
審査情報の欠落	<p>私たちは、うまくいかなかったデータの一部を再移行することに取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これは、関連するレベル2データへのアクセスにも影響する。情報が消失しているとみなす前に、別のログイン IDが発行されていないかどうかを確認する必要がある。
フィードバック情報	<p>フィードバックシステムが少し改訂されたため、少数のID記録にアクセスすることができなくなった(つまり、過去2年間分しかアクセスする方法がない)。また、他者や受信者以外の特定のタイプの可視性など、使用しているものを見ることができないシナリオもある。私たちは、この問題に取り組んでいる。</p>
検索と追跡-サプライヤの詳細サイト	<p>検索&追跡におけるいくつかのサプライヤの項目は、さらなるサイトのもとでのサプライヤの認証の以前のバージョンの一部であったサイトを示す。</p>

<p>CBの権限ポータルテキストの問題を含む審査員:</p> <p>「審査<CBネーム>」は混乱しているが、表示される審査員や審査には影響しない</p>	<p>見出し情報のCBネームは既知の問題であるが、実質的な影響はない。</p> <p>審査員のすべての審査オーダーは、審査員/レビューポータルにある。これは、審査員がテクニカルレビューアまたはCBCSOCなどの他のCBの権限でもある場合に発生し、ログインおよび権限/役割はCBを経由し、したがって、そのリストを保持し、第2の冗長ログインの作成を回避した。これらの役割/ログインは、分離することができ、おそらく分離したほうが良いが、実質的な影響はない。</p> <p>審査を検索する場合は、フィルタを使用してさまざまな段階を検索し、格子にCB列が表示される。既知の問題と進行中の改善の一覧については、IAQG知識ベースを参照する。例:</p> 
<p>前回の審査円グラフのNCRが不正確</p>	<p>NCRの「最終審査」のオンライン円グラフは正確ではない。過去1年間のすべてのNCRの合計を表示している。この円グラフは、審査のダウンロード文書から削除されている。オンライン審査入力プロセスで早急に対応する。</p>
<p>終了したがレビューされなかった審査は、レビューに問題が発生させる妥当性確認が欠落している可能性がある</p>	<p>サイトなど、必要なデータエレメントが移行できない場合がある</p> <p>審査サマリーのサインオフとサインオフの結論のセクション。そのため、レビューを移動する際に妥当性確認でエラーが生じることがある。CBは、オーダーを審査に戻し、欠落しているデータエントリを完了して、オーダーを完全な妥当性確認まで進めなければならない。これは、V3の審査員によってサインオフされていない移行済み審査にのみ影響する。</p>
<p>技術レビューで始まる移行された審査結果は、審査レベルの妥当性確認の対象になる</p>	<p>進行中のレビューまたはレビュープールで移行されたテクニカルレビューは、IAQGによる妥当性確認の対象として定義された消失したデータエレメントである可能性がある。8/29/23の更新で、妥当性確認が調整されたが、問題が発生する可能性がある。したがって、これらの審査は妥当性確認を引き金とする。CBポータルビューで審査に戻り、妥当性確認をクリアしてレビューをきれいに移動する必要がある。</p>
<p>審査作成以外のCBによってポータルに移動された審査は、審査員によって開くことができない</p>	<p>CBが、作成された審査をワークフロー・ムーバを介して審査員のポータルに移動すると、新しい審査をスキップしてプロセスを受け入れることができる。これにより、ワークフロー審査員のポータルが開いている審査フィルターに表示される。</p>  <p>これらの審査は、CBによって取り消され、審査の作成および編集プロセスを使用して審査員のプロフィールに入れ込む必要がある。ショートカットにワークフロー・ムーバを使用することは避けること。</p>
<p>CBデータ変更、編集の作成ミス妥当性確認問題</p>	<p>過渡的な審査項目を使用して、手でNCRを閉じたり、他の作業を行ったりするCBは、エラーを引き起こしたり、その後解決不可能なエラーメッセージをスローする不可能な状態を作り出したりしている。たとえば、ワークフロー段階チェックリストの審査終了-所見ワークフローでは、審査員の知識なしにNCRが追加され、別のNCRが無効にクローズされたりしている。これにより、審査を見直すことができなくなる。</p> <p>CBは、できる限り、すべての適切なユーザーが、ユーザーに対して管理者レベルのショートカットやワークフローの変更をできる限り実装する代わりに、規定された順序とプロセスでシステムステップを実行できるようにする必要がある。</p>

**封じ込め処置
yes/no要求事
項のために保
存されていない
場合のNCR デ
ータの消失**

審査員よりNCR形式のデータを消失したとの報告があった。これは、封じ込め処置の「Yes/No(はい/いいえ)」の必須項目項目に回答しなかった後に、NCRを保存し、ウィンドウ内の“X”をクリックすることができなかったことが原因であると考えられる。

審査員は、任意のNCRデータを保存するために、封じ込め処置に対する回答を識別しなければならない。



<p>リード審査員は、NCRクローザにサインオフするが、NCRを作成した審査員は必ず記録される</p>	<p>一部の審査員やCBからは、リード審査員のみが、重要なデータポイントであるNCRを提案でき、NCRをクローズすることもできるため、懸念を表明している。NCRリスト/グリッドは、NCRの作成者の識別をサポートするために、常に「created by」フィールドを含む。</p>
<p>第2段階サマリー&サインオフなどで必要な保存</p>	<p>2023/11/02 ごく少数の審査員が第2段階のデータの消失を報告している</p> <p>- サマリー&サインオフの様式。これまでのところ、再現することが可能な唯一の要因としては、審査員が様式を編集したが、保存する前にブラウザを保存および閉じることに失敗したか、またはコンピュータを無期限に放置した可能性が考えられる。この様式やその他の様式への変更は、保存しない限りデータベースにコミットされない。ページの移動中に保存を促されるが、保存せずにタブを閉じると、保存していないデータは失われる。</p> <p>約60~90分の非アクティブ状態が続いた後ではタイムアウトし、保存されていないデータが失われる可能性がある。そのため、特に作業を中止したり、コンピュータから離れたりする場合は、定期的に保存することを強くお勧めする。</p> <p>様式から移動すると、ユーザーは保存を要求されることに注意する必要がある。したがって、アクティブに編集していないときにワークフローを開いたままにしないことは、このような不注意による事象を回避するための効果的な戦略である可能性がある。</p>

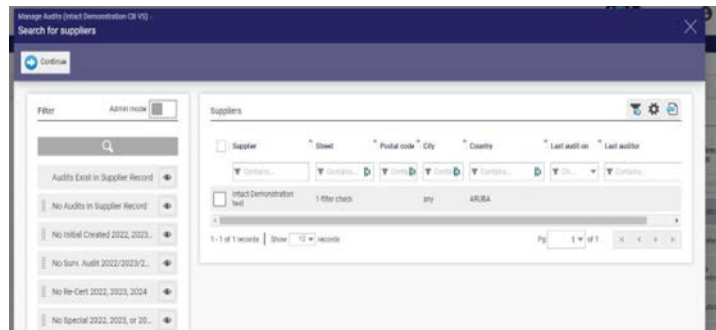
<p>対処すべき発行</p>	
<p>ログインの問題・複数のアカウント保持者</p>	<p>何百ものログイン問題が解決された。将来のニーズに対応するために、ブレッドクラムがシステムに配置されている。</p> <p>複数のアカウント(数千件)を持つ一部のユーザーは、同じ様な電子メールを使用すると、ログインと電子メールのリセットでエラーが発生する。これは解決され、アクセスの迅速な取得を支援するために効果的な即時支援策が開発された。</p>
<p>コンサルタントアクセス</p>	<p>コンサルタントアクセスは、多くのサプライヤへのアクセスを同時に必要とするユーザーを支援するために展開され、調整されている。これは、より完全に早く文書化され、これを管理するサプライヤの可視性が向上し、直接的に管理できるようになる</p>
<p>NCR段階のミスマッピング</p>	<p>2つの別々のOASIS NGデータポイントは、NCR段階に正確にマッピングされていなかった。これを調整し、再調整を行った。</p>
<p>PEARS</p>	<p>PEARレベルグリッドに変換された数字があると、強調表示されたグリッドが間違った場所に表示され、PEARによっては間違ったPEARレベルが表示される。この問題は、全体を通して解決された。</p>
<p>所見の変更</p>	<p>特定の所見、特に特定の段階を超えて移行された所見は、ユーザーが是正処置または審査員を編集して非適合の文を更新することを許可していない。これは解決された。</p> <p>元々のデータでプロセスに接続されていない所見は、当初は移行されなかった。これは解決された。</p> <p>8/29/23の更新 サブミット後に審査員によってサプライヤに戻された一部の所見は、是正処置項目をロックし続けた。これは解決され、これらのロック解除された。</p>
<p>技術レビュー 妥当性確認/レビュー プール</p>	<p>CB技術レビューはCABと結びついていなかったため、レビューを待っている完成した審査を見ることができなかった。これは解決され、新しいレビューが追加されると、CAB はデフォルトで含まれるようになった。</p>
<p>コンサルタントユーザーがアクセスできないレベル2のデータ</p>	<p>8月9日、リリース午前中に対応。</p>
<p>個別ウォッチリストの消失</p>	<p>ウォッチリストのデータフィールドが誤っていると、個々のウォッチリストは移行されない。</p> <p>問題が特定され、データの存在が確認され、これらは直に再移行される。</p>
<p>NCR移行の修正</p>	<p>審査員による妥当性確認は、隠しフィールドに置かれていたため、表示されなかった。封じ込め処置の期日と他の2つの日付は、マップがずれており、移行されたすべての所見で修正されている。</p>


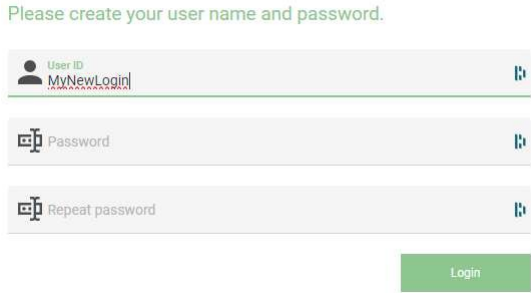
CBの新審査サプライヤ検索フィルタ

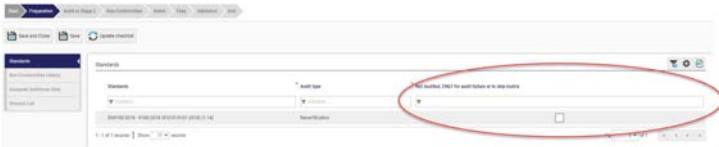

サプライヤを検索して管理審査内に審査を追加すると、CBはサプライヤを見つけられなかった。

これらのフィルタを、明確にするために再定義され、名前が変更されていた。ここでは、上位2つのフィルタがある。あるサプライヤは、審査で作成されたすべてのものを配信し、別のものは、(新しいサプライヤ)を持たないサプライヤを配信する。残りのフィルタは、特定の審査のタイプが、前年、最新年、および来年にそのサプライヤに関連付けられていないかどうかを識別する。これにより、混乱が少なくなり、審査を追加するサプライヤを見つけやすくなる。

注記: サプライヤが見つかったら、任意の審査タイプを割り当てることができる。フィルタは、所与の審査のタイプが必須であり得るかどうかを識別する際の便宜上のものに過ぎない。

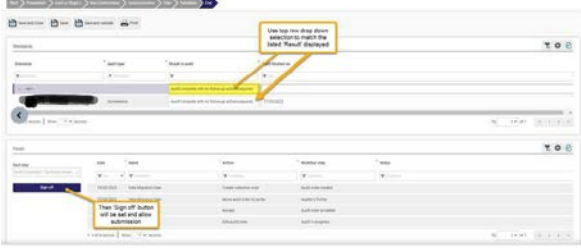


報告書の改善	<p>複雑なデータフィールドと、html コードなどを含む移行されたデータにより、報告書に空白値が表示される。解決済み。</p> <p>報告書の改善には、一般的に、他のさまざまな使いやすさの改善に加えて、サイトのための国や都市が含まれる。</p>
ログインの問題	<p>パスワードは、ユーザー名によってのみ再設定できる。チケットに対するログイン解決の高速化をサポートする情報が提供されている。</p> <p>OASISのログイン名は、できる限り既存のユーザーに復元される。このプロセスの解決・改善に時間軸で取り組んでいる。</p> <p>ユーザーをサポートするために改善されている指示書とコンテキスト。</p>
サプライヤ/CB評価ポータルランディングページの改善	<p>サプライヤのランディングページとCBの評価/NFR/プロフィールページに、ナビゲーションの説明と指示が追加された。</p> 
妥当性確認問題の解決。第2段階/レポート妥当性確認は、該当項でのみ実行される	<p>以前は、妥当性確認は審査員を報告書に戻して、必要とされなかった回答を示すよう強制していた。</p>
OASIS NG (v2)からのユーザーログインが復元された	<p>以前にOASIS V3に正常にログインしていないすべてのユーザーについて、元のOASIS ユーザー IDが復元されている。これは、経験された問題をログインすることが実質的に期待される。ユーザーが適切な手順を実行し、正しいIDを提供していることを確認するには、上記の手順に従う必要がある。</p> <p>ログインを変更したいユーザーは、Forgot Passwordを実行し、受信した電子メールをクリックして、新しい電子メールを入力することで変更できることに注意すること。</p> 
ナレッジベースで改善された妥当性確認指示	<p>注記-審査の実行-妥当性確認</p>
消失していた審査が復元された	<p>2023年8月21日には、当初は移行されなかった多くの審査結果が移行された。これらには、取り消された、または削除された認証文書に関連するWIPおよび審査が含まれる。</p>
移行審査妥当性確認の問題	<p>第1段階と第2段階の詳細妥当性確認は、審査結果の移行問題を避けるため一時的に無効にされた移行された審査の問題</p>
移行された審査の組織代表のサインオフ妥当性確認が解決された	<p>移行された審査の組織担当者は、もはやエラースローしない</p>
テクニカルレビューで始まる移行審査	<p>進行中のレビューまたはレビュープールで移行されたテクニカルレビューは、IAQGによる妥当性確認の対象として定義された消失したデータエレメントである可能性がある。したがって、これらの審査は妥当性確認の引き金となる。</p>

審査レベルの妥当性確認に従う	CBポータルビューで審査に戻り、妥当性確認をクリアしてレビューをきれいに移動する必要がある。
「Audit Finished (審査完了)」で、スタックしていた審査が解決	一部のCBでは、チェックリスト終了およびCBレベルワークフロー変更機能を使用した進行中のレビューなどの特定の段階からの審査の移動によって、審査がバックオフィスの管理者レビューの状況に移行し、審査の段階が移動できないようになったことを経験した。テクニカルレビューへの移行のみを許可するように更新され、審査Finishedの28の審査が進行中の審査に移行された。
エンドタブで妥当性確認が向上	2つの妥当性確認のいずれかで、エンドタブの妥当性確認が改善された。上記の問題を明確にするため、エンドタブは妥当性確認の文言を残している。
フェイタルエラーの解決	一部の審査は、クローズ/サインオフ時にシステムクラッシュ/フェイタルエラーを返した。根本原因が特定され、解決した。ユーザーに通知されている。
行列の消失を避けるために「Not Audited (未審査)」チェックボックスの名称を変更	<p>「準備」タブでは、「未審査」チェックボックスが審査員に頻繁に誤用された。クリックすると、機能に基づいてマトリクスにアクセスできなくなり、失敗した審査がCBに戻されるようになる。</p> <p>審査の失敗や審査ができない場合にのみ使用することを明確にするために、ラベルを更新した。</p>
	 <p>拡大:</p> 
送信されなかったメールを通知する	リマインダーメールは、NCRおよび審査ワークフローステップの変更のために再開される。
フィードバックメールの改善	フィードバック電子メールは、送信者および受領者に関する追加の状況を含むように改善されており、したがって、多くの権限または所属を有するユーザーは、フィードバック項目のための状況をより容易に識別することができる。
統合審査はサポートされていない	統合審査は、最初は範囲外であると識別されている。これらの審査は作成して実行できない。今後はIAQGと連携して、この機能を導入する予定である。
組織担当者検索の改善	以前は、組織担当者を追加する際に、いくつかの記録が表示されず、いくつかの会社名が配信された。検索フィルタは、より良い結果を提供するために改良されている。
CB サプライヤ検索は、審査が存在しても、いくつかのサプライヤを含んでいなかった	一部の審査は、基礎となる規格/契約情報なしで移行され、審査は見つかったが、サプライヤ自体がCBには表示されなかった。これは解決された。
パフォーマンス改善全般	タイムアウト、致命的な問題に対処し、一般的にシステムパフォーマンスとスピードを改善するために、多種多様なパフォーマンス改善が実施された。引き続き、サービスデスクのチケットを使って、このような行動を報告する。
妥当性確認の無効化	一部の移行された審査では解決できない妥当性確認エラーが発生するため、段階の1つと2つの領域で妥当性確認が一時的に無効になっている。
第1段階様式の小数値	様々な形態で整数の代わりに10進数値を入力する機能が追加された。ユーザーは、ログインからプロフィールセクションでユーザーの数値書式を制御番号ことに注意する。
オランダアンティルズをオランダに修正	オランダにある1136の組織は、サプライヤをアンティルズに移動する代わりに、「オランダアンティルズ」に変え、「オランダ」に住所情報を変更した。
リマインダーメールの改善、フィードバックが必要	フィードバック通知メールは状況が不足しており、送信者や他の情報をよりよく説明するように調整されているため、複数のフィードバックストリーミングにアクセスできるユーザーはより効率的になる。審査とNCRの電子メールには、追加の改善が必要であり、これらのメールで得たいことについての提案を歓迎する。

2017年/2016年以前の審査員レコードの複製	<p>2016年以前の認証情報を持つ審査員は、OASIS NG システムに2つのプロフィールを持っていた。多くの場合、「username2016」ユーザー名で識別される。これは、レコードのシステム変更と背景の重複が原因である可能性がある。これらの記録は期限切れで認証情報がなくなったが、ログインの発行の解決時やシステムの検索時に混乱を招く可能性がある。Intact社は、これらの記録を、見つかったときは、接尾辞の“expiredauditor”で識別を行った。それらは、履歴審査にアタッチされ得るので、非表示にされ得るが、削除されない。</p> <p>これらの記録は、別の修飾審査員記録がシステムに残っている場合、古い認証情報と完全に期限切れの適格性評価によって識別することができる。</p>
アップロードされたサプライヤを削除する機能	サプライヤがNCR等間違えてアップロードしたファイルを消去できるようになった。

ファイル

<p>CBがレビュープールに「スタックする」のではなく、一貫して移動することによって完成した審査</p>	<p>審査員ではなくCBの手動ワークフローで終了した審査は、誤って発生する可能性がある IAQG システムでアクセスできないバックオフィスレビュー手順に送信される。このワークフローのオプションは廃止された。CBは、ワークフローステップを変更するたびに、変更とその結果としての適切な状況の両方を選択する必要がある。</p>
<p>“?”で識別される漢字が解決された</p>	<p>移行時に、所見に入力した漢字の中には、2進数や「?’などの文字が含まれるものがあった。 これらは解決した。</p>
<p>認証文書の生成時に誤ったCBが指定されている場合がある。</p>	<p>サプライヤに複数のCBの履歴がある場合、規格タブには同じ規格に対して複数のCBが含まれていた。これにより、新しい認証文書の作成時に誤ったCBが表示されることがあった。 これらの契約/規格は解決した。残された課題があればお知らせください。</p>
<p>9/15/23に解決済: ワークフローの終わり: サインオフでは、審査員は、以前に選択されていた場合でも、サインオフの直前に審査結果を再選択する必要がある。</p>	<p>2023/09/15 解決済み:審査結果とワークフローステップの再実行が不要になった</p> <p>ワークフローの終了時。サインオフする直前に、最上位の審査を再選択する必要がある。値がリセットされる。早急に解決したいと考えている。</p> <p>注記: これを最上位として選択する必要がある。</p> 
<p>審査員に戻された場合、公開フィルターに審査が表示されなくなる</p>	<p>2023/09/15 審査オーダーが公開されていない場合、オーダー管理「公開済み」フィルターは表示されなくなる。このフィルターおよび機能性の変化は、フィルター内の「明らかである」重複順序のインスタンスを低減する。</p> <p>オーダーを終了したユーザーは、それらが完了した割当てであるので、依然として審査員/レビュアー領域内に1つを見ることができるが、それらは読み取り専用のままである。</p>

解決済み: PEARデータの消失

2023/09/15 : この問題を解決した。PEAR で句を管理しても、エントリーを保存しない方法でページがロードされなくなった。

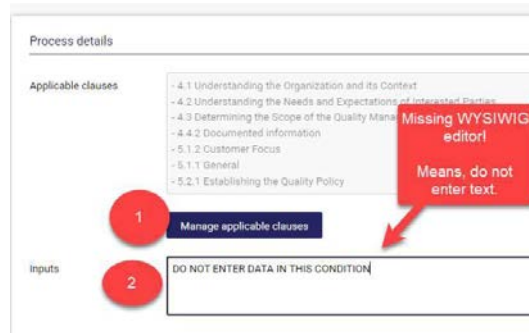
最近、PEAR texU入力データが消失したとの報告を受けた。私たちはこれを非常に心配しており、ステークホルダーと協力してこの問題を早急に診断し、最終的には解決するよう努力している。

解決策: WYSIWIG エディタが存在しないテキストフィールドにデータが入力された場合、特に「該当項の管理」ボタンを使用した直後に、PEAR データが失われる可能性がある。

WYSIWIGエディタの例:



例



仮ソリューション:

条項をマネッジした後、保存して閉じ、再度開く。次の条件を確認する:

	 <p>Process details</p> <p>Applicable clauses</p> <ul style="list-style-type: none"> - 4.1 Understanding the Organization and its Context - 4.2 Understanding the Needs and Expectations of Interested Parties - 4.3 Determining the Scope of the Quality Management System - 4.4 Documented Information - 5.1.2 Customer Focus - 5.1.1 General - 5.2.1 Establishing the Quality Policy <p>Manage applicable clauses</p> <p>Inputs</p> <p>ONLY ENTER DATA IF THE EDITING MENU ABOVE IS PRESENT</p>
<p>移行審査入力管理者によるNCRの編集</p>	<p>2023/09/15 移行審査入力管理者は、データ入力をサポートするためにNCRのすべてのフィールドを編集できるようになった。</p>
<p>「Finished Triggers」ワークフローのクローズのNCR 状況</p>	<p>2023/09/15 NCRは、移行エントリー管理者によって終了状態に置かれ、これは、NCRワークフロー状態が閉じられることになる。</p>
<p>移行後の所見の是正処置テキストを保持</p>	<p>2023/09/15 サプライヤが入力した是正処置は、送信/保存されても失われない。審査員/CBとサプライヤの間で前後に移動した影響を受けた移行所見のみ。</p>
<p>ファイル生成中のエラーが解決されたプロセスまたはPEARSが空の審査では、報告書がタイムアウトせず、レポート生成エラーがスローされる</p>	<p>2023/09/18 : この問題は解決した。タイムアウトの原因となった背景手順が削除された。</p> <p>プロセスのタイムアウト後に、識別されたサイトがないなどの部分的なプロセスを作成したユーザーは、審査レポートを作成できず、ファイルの作成中にエラーを受け取らない。</p>  <p>原因:</p>  <p>審査員は、レポートを正常に生成するためにプロセスデータを修正する必要がある。具体的には、プロセスに少なくともサイトなどのデータを追加する必要がある</p>
<p>追加サイトの非アクティブ化機能は、「サプライヤ追加サイトの管理」で明確になった</p>	<p>2023/09/20 追加サプライヤサイトを削除/非アクティブにする必要がある認証機関は、現在、この日付でサイトがもはやアクティブではないことを示すために、日付を追加することによって、そのようにすることができる。これにより、CBは、サプライヤによって削除された、または認証に関連しなくなったサイトを管理できる。無効なサイトは、審査に割り当てることができなくなり、「検索」および「追加サイトを追跡」領域では表示されなくなる。</p>
<p>プロセスの名前に特殊文字があると、審査レポート生成時に問題が発生する</p>	<p>2023/09/21 プロセスの名前に特殊文字があると、審査ダウンロード報告書の作成に失敗し、エラーコードが生じる。これらは解決した。</p>

**IAQGナレッジベース
でのフルヘルプデスク
検索の実装**

2023/09/21 IAQGナレッジベース全体の内容を検索ユーザー用に、新しい検索バーが追加された



<p>非適合履歴フィルターを追加</p>	<p>2023/09/22 移行エントリー管理者と進行中の審査をレビューするCBには、過去のサプライヤの非適合をすべてレビューできるようにするためのフィルターがある。</p> 
<p>ADC バージョンの更新</p>	<p>2023/09/22 正当化ロジックの問題と台湾に対処するためにリリースされたADC版2.682。 OASIS V3 ファイル</p>
<p>第1段階データ消失問題の解決</p>	<p>2023/09/22 ユーザーは、データ入力後にプロセスなどを変更しても、第1段階レポートデータを失うことはない。</p>
<p>ヘルプデスクには不要になった添付書類</p>	<p>2023/09/27 ハイエンド環境に対応するため、ヘルプデスクから添付要求事項を削除以降のフォローアップと添付資料の添付は次のとおりである チケットや問題解決に非常に役立つ。</p>
<p>組織担当者が審査スタートタブで繰り返し返されなくなった</p>	<p>2023/10/08 進行中の審査へのCBの編集によって、組織担当者がスタートタブで複製されることはなくなった。データクレンジングは、存在する重複を削除するためにプロセスされる。</p>
<p>リリース実施</p>	<p>2023/10/08 リリース版では、2023年10月6日金曜日に実施され、月曜日および火曜日に追跡調査されるユーザー向けのさまざまな改善が含まれている。たとえば、審査やNCRをサプライヤが開くための新しい方法、認証文書を作成するときに認証範囲を変更する機能、リード審査員を削除できるように審査工数(audit time)を変更する機能、不必要な警告メッセージをスローしにくい計算機能、複数のCBがサービスを提供している認証文書を発行するときにCBを選択する機能、CBや審査員の審査工数(audit time)を再開する機能などである。すぐにリリースのメモやアナウンスを探す。</p>
<p>AAB再認証機能の明確化</p>	<p>2023/10/08 いくつかの質問と調査の後、AAB編集審査員の指示が更新され、発行日と有効期限が更新活動を支援するために期限切れになっている可能性があることが明らかになった。「Edit Auditor Data」参照</p>
<p>補足審査の再移行</p>	<p>2023/11/02 補足審査は、データ移行中に現存する審査に統合された。補足審査が別の審査番号を持っていたり、一致できなかったりした場合は、誤って消去された。これらは移行された。様式6のみを有するがベース審査を有しない少数の限定された審査は、単一の審査に効果的に移動することができず、代わりに別の審査である。CBは、他のものを保持他削除する審査を選択することができる。</p>
<p>NCRを再開できるようになった</p>	<p>2023/11/02 NCRを再開する要求事項は、今や規格な機能である。NCRワークフローの新しい選択肢により、クローズしたNCRをシステムで再度開くことができる。 NCR編集権限を持つユーザーは、サプライヤなどに送信するのと同じ機能を使用して、作成された段階にNCRを再度開くことができる。</p>
<p>アジア文字を含む審査レポート</p>	<p>2023/11/13 アジア言語の文字に対応するために生成できる追加の審査レポートが利用可能になった。</p> 
<p>9120:2018 チェックリストオーダー確定</p>	<p>2023/11/13 条項5.3 は、9120:2018 (9101F/9101:2018) チェックリスト Ver. 1.3 で再オーダーされている。これまで、この条項は数値オーダーから外れていた。初めてオープンにし、このチェックリスト版を採用した9120審査のいくつか/すべてが、正しい順番で表示される。</p>

**規格、認証文書等
が誤って修正された
サイト**

2023/11/13 多くのサイトは、サイトの規格と認証文書を持っていたが、審査オーダーではサポートされていなかった。これらは、正しい本部およびサプライヤ審査オーダーからの重複する認証文書であった。それらの存在は、サイトレベルで検索および追跡において重複するリストを作成した。これらはクリーンアップされているため、それぞれの審査オーダーには、その審査と認証文書にリンクされているサプライヤとサイトのみに関連付けられた1つの認証文書のみが含まれる。これは、システム内に存在する情報を実質的にクリーンアップするはずである。

OASIS V3の動作は異なり、データクリーンアップが進行中であることを注意すること。私たちは、継続的な展開の間、システムの改善に取り組んでいるので、お待ちいただきありがとうございます。

更新ログ

日付	更新
2023/08/15	既知:妥当性確認の問題(および解決策):審査に第1段階がない場合、該当しない条項は行列のN/A を選択せず、発行しようとする妥当性確認エラーが発生する。
2023/08/15	既知:終了したがレビューされなかった審査は、レビューに問題を発生させる妥当性確認が欠落している可能性がある
2023/08/17	既知:ワークフローの終わり:サインオフでは、審査員は、以前に選択された場合でも、サインオフの直前に審査結果を再選択する必要がある。
2023/08/17	アドレス: 報告書の改善
2023/08/17	既知およびアドレス: ログインの問題(既知の問題の最上位行に更新および配置)
2023/08/17	評価ポータル ランディングの改善
2023/08/18	第2段階/レポート妥当性確認
2023/08/18	復元されたOASIS V2 でのログイン
2023/08/20	NCR管理は、サプライヤによる対応の準備が整っているNCRが発見され得る場所に関するユーザーの混乱を避けるために明確にした。 NCR管理-サプライヤ
2023/08/21	消失していた審査データが復元された
2023/08/21	テクニカルレビューの明確化から始まる追加の組織担当および移行審査が追加された。
2023/08/29	移行データおよび妥当性確認インタラクションのアップデート、致命的なエラーの解決、“Not Audited”チェックボックスの名称変更、リマインダーメール、所見のアップデートの変更、フィードバックメール、組織担当者の検索、CBサプライヤ検索など、いくつかのアップデートが発行の解決に追加された。 再開不能なNCR、統合審査が既知の問題に追加された
2023/08/30	パフォーマンス改善
2023/09/09	既知:識別されたCBが間違っている、いくつかの補足審査が欠落している、PEARデータが消失している、CBデータチェンジが誤りを引き起こしている 解決済み:妥当性確認非アクティブ化、第1段階様式の10進数値、オランダアンティル修正、フィードバックリマインダーメールの改善、審査員レコードの複製、サプライヤはアップロードされたファイルを削除できる。審査はCBで一貫して移動が完了した。「?」で移行された漢字は解決された
2023/09/12	解決済み: 一部の例で認証文書の作成時に識別された誤ったCB問題が対処された
2023/09/13	既知:検査レポートのエラー発生
2023/09/15	解決済み:審査結果/ワークフローステッププロセス、発行済みのオーダーが審査員に戻された場合、データ消失、移行審査入力管理によるNCR編集の拡張、是正処置テキストが失われなくなった。
2023/9/18	解決済み: 不完全または部分的なプロセス/PEAR エントリーによるレポート作成時エラー。
2023/9/20	既知:審査員およびサインオフの行によるNCRデータの消失。 解決済み:CBがサイトを非アクティブ化する機能。
2023/9/21	解決済み:プロセス名称の特殊文字レポートエラー、知識ベースの検索機能
2023/9/22	解決済み:CBの審査ワークフローフィルタに非適合履歴が追加された
2023/9/25	解決済み: AOC が改善された
2023/9/27	解決済み:第1段階データの消失、ヘルプデスクには添付不要
2023/10/08	組織代表者の問題、主要なリリース、およびAAB審査員リストの明確化。
2023/11/02	既知:審査サマリーでの保存が必要 解決済み: 移行された補足審査、NCR の再オープン
2023/11/13	解決済み: アジア文字審査レポート、9120審査の5.3 項の誤った順序、およびサイトでの重複認証文書。

